

〔様式1〕

令和6年度 北区立小学校学力向上を図るための全体計画

#REF!

令和6年度「北区基礎・基本の定着度調査」を受けての各教科の分析	
国語	教科全体として目標値を殆どの学年が上回っていた。観点別正答率「主体的に取り組む態度」「思考・判断・表現」の2観点について、目標値を下回った学年があった。
社会	教科全体の目標正答率は5年生も6年生も目標値を下回る結果となった。社会科に関しては、教科における児童の理解度の確認や授業改善が急務である。
算数	教科全体の目標正答率を全学年で上回っていた。結果が出ているので、このまま児童の理解度を確認しながら授業をすすめていく。
理科	教科全体の目標値で見ると、わずかに下まわっているものの概ね良好と言える。
外国語	教科全体で見て目標値と同程度の正答率であると言える。

本校の教育目標

よく考え工夫する子
仲よく助け合う子
進んで体をきたえる子

学力向上にかかわる経営方針

・個別最適な学習と協働的な学びの推進
・習熟度別指導の効果的な活用
・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着
・家庭学習の定着・習慣化
・「学びの基本」(家庭学習の手引き)の活用
・外部団体と連携した学習活動

本校が児童に育成したい力
○基礎的・基本的な学力の定着 ○主体的に学習に取り組む態度の育成 ○個別最適な学習と協働的に学ぶ態度の育成 ○体験学習の充実 ○学習習慣の確立

校内における学力向上推進体制
○校内研究の授業を基に、低・中・高学年で学力の向上について話し合い、共通理解を深める。 ○学習習慣確立の一環として、「宿題ばっちり週間」を年間2回設定し、学習習慣体制の見直しと習慣化を目指す。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
・個別最適な学びを行えるよう、区学力調査の結果を踏まえた少人数算数の習熟度に応じたクラス分け、学級内での話し合い活動の工夫 ・ICTを活用し、視聴覚における学習を充実させる。 ・基礎・基本的な学習内容の定着のための復習学習	・外部と連携し、学習活動の充実させることで、体験を伴う知識を獲得させる。「租税教室」「水道キャラバン」「書道教室」等 ・基礎・基本の定着のため柳田タイム(火・金の5時間目の授業前)の設定	・「柳田小を誇りに思い、認め合い高め合う児童の育成」～学級活動を通して～において、学級活動から派生し、どの授業でも、児童の自己肯定感を高める授業作りを目指している ・ビジョントレーニングを全学年で実施、目の動き、脳の動き活性化を図る	・算数では、東京ベーシックドリルを使い、毎学年の達成率を設定して、全学年で取り組んでいる。学年末までには、平均正答率を80%超えるように学期始まり・終わりの時期に時間を見つけて取り組んでいる ・低学年でMIMIに取組み、「読む力」に課題のある児童を見つけ、指導に繋げる	・年間2回の「宿題バッチリ週間」の設定・実施、家庭への啓発活動の取組み ・保護者・地域ボランティアを募り、教育活動への参加・啓発を図る ・本校作成「家庭学習の手引き」を活用し、家庭との連携を図る